

編集委員

大久保、田内、山地、内田

発行

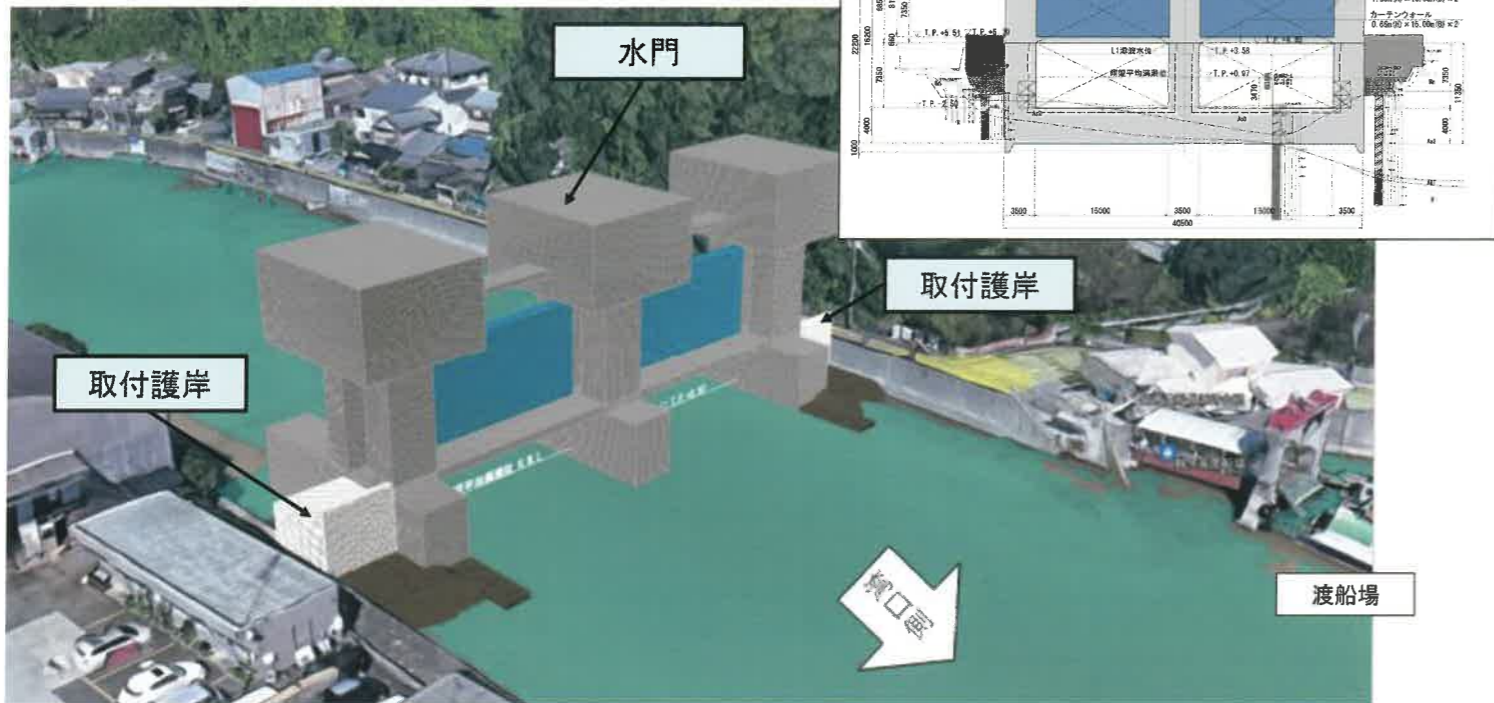
長浜・御畳瀬 連携協議会 会内
長浜ふれあいセンター
毎年1回 発行予定

南海地震による津波浸水に備え

新川川(長浜川)河口付近に「水門」を設置します。

《国土交通省 高知港湾・空港整備事務所》

水門の整備イメージ



※本資料は Google Earth に水門形状を重ねたものであり、簡易的なイメージパスです。

南海トラフを震源とする地震は、今後三十年内に70%以上発生するといわれており、高知沿岸が位置する高知市は2m程度の地盤沈下と液状化もあり、広域且つ長期的な浸水被害の発生が懸念されています。

このため高知沿岸では、「三重防護」構想で減災対策が計画されています。三重防護事業は国土交通省及び高知県で分担し整備を進めており、長浜・御畳瀬地区の海岸堤防の整備については、地震での地盤沈下を考慮し護岸の嵩上げ補強の他、新川川河口の梶が浦渡船場付近へ新たに「水門」の設置を計画し、昨年十二月に地元関係者に説明会を開催しました。

その結果、地元意見として梶が浦渡船場付近への「水門」の早期設置を要請いただきましたので、これからの詳細設計に可能な限り反映させ、長浜防災連合会様を窓口にして進捗など報告し、皆様の安全・安心はもとより親しまれる海岸整備を進めて参ります。

長浜・御畳瀬・浦戸地域の活性化を目指し取り組まれているイベントが、高知市を中心に元親こじやんと楽市、JA高知市、中村農園、浦戸まちづくり連携協議会、長浜・御畳瀬連携協議会等が協働し、若宮八幡宮・鎮守の森公園一帯で2月25日に開催されました。

前日からの天候不具合で、午前中は小雨降りやまずスタッフは長靴等着用し、いつもより難儀しつつも開催にこぎ着け、午前十時開場とともに大勢の来場者で賑わい、次第に盛り上がりお楽しみくじ引きには、長蛇の列で状況を呈していました。

今回は豪華なユリ花で飾付したブースを中心に、南北のゲート・楽市の各店舗前にもユリ花が飾られ、ユリ花満開の会場でフラワーアレンジメント教室には、三教室に分かれての開催でしたが、参加者は午前・午後とも先生の指導で花束を作り、満足そうに作品を眺められていました。

楽市の出店も食べ物屋さんを中心に雑貨屋さん等、30店舗近くが軒を並べ、賑わいを呈していました。

高知市職員で綿密な工程計画を立てられ、前日からの準備作業と開催中も事故など起きないよう、スタッフ全員で打合せしての気配りをされ、午後3時の閉場で無事成功裡に閉幕することが出来ました。

会場を提供頂きました若宮八幡宮、更に地元からボランティアで応援頂きましたスタッフの皆さんにも感謝申し上げます。



昨年12月、国土交通省による「水門」設置計画の説明会

表紙に掲載しました、新川川河口への水門設置につき、工期が約三年位と短く早期に完成が見込まれる梶が浦河口付近への設置を決め二月二十一日要請しました。要請文は当防災連合会、長浜地区町内会・公民館連合会、長浜消防分団、長浜南部消防分団が幹事となり、地域の病院やスーパーマーケット等多くの住民が出入りする事業所等も訪問説明し、賛同を頂き同意書として「長浜川河口付近へ水門設置を早期完成要請書」として管轄する高知港湾事務所長宛に提出致しました。

担当者の工程予測として調査・設計に四年、工事期間が三年程度で、令和十三年頃の完成を目指すとの回答でした。

南海地震は必ず発生し津波も新川川を遡上し地域全体で被害を蒙ります。揺れと液状化は避けられませんが、新設する水門で津波浸水が防衛できれば地域の被害は大幅に減少できます。防災連合会では、今後も国土交通省と連絡を密にとり早期の完成を目指します。

地域活動イベント
「こじやんと楽市」
ユリ海道2024
開催!

国土交通省へ「新川川河口付近に早期「水門」の完成要請書」を手渡す

長浜・御畳瀬連携協議会 役員・専門部会名簿

令和6年 3月 現在

- 役員** 会長 大久保千寿 副会長 福家 隆、久武 邦雄、中村美津子
 監事 田内 聡、森 玉喜、
 事務局 内田 俊彦、山地 淳、

福地 社部会	活動目的	部会役員	
	地域住民間の絆を深め、お互いに支えあいながら、子供から高齢者まで地域住民が安心して暮らせる町づくりに取り組む	部長 永吉 誠志 副部長	東塩谷公民館 館長 長浜小学校PTA会長 南海中学校PTA会長
活地 性化部会	活動目的	部会役員	
	地域の文化・スポーツ活動など通じて、地域住民の交流や活性化に取り組む	部長 坂本 径世 副部長 堀 美智雄 高見 充子	もとちかこじやんと楽市 長浜体育会 みませ祭実行委員会
部安 会心	活動目的	部会役員	
	地域の防災・防犯・交通安全活動の推進に努め、安全・安心・快適な町づくりに取り組む	部長 青木 健一 副部長 新川 泰造 中山 伸一	防災士「長浜会」会長 消防団御畳瀬分団長 交通安全協会会長浜分会長

長浜・御畳瀬 連携協議会 (事務局) 〒781-0270 高知市長浜690-5 高知市長浜ふれあいセンター内
 TEL:088-842-2211 FAX:088-842-2239

新規加盟案内
 本会の主旨に賛同し、共に地域の発展に協力頂ける団体・個人の方の加入を歓迎します。ご希望の方は、左記事務局までご連絡を下さい。



南海中学校区

「めざす子ども像」

令和6年3月8日

前年度発行の第7号広報誌で紹介しましたコミュニティ・スクールは、地区の代表委員として高知市教育委員会より委嘱を受け決定されました十名及び各PTA代表と学校長等で構成され、年3回の学校と地域代表が協議を重ねて下記に示します内容の「南海中学校区 めざす子ども像」として地域住民皆様に示すことができました。

表に示されます通りテーマとして郷土愛・コミュニケーション力・自尊感情・チャレンジ精神・学力向上・防災力の向上を掲げ、実現するための取り組みも保育園・小学校・中学校・家庭・地域住民迄がそれぞれの立場で考え、実現できる取組を地域が一体となり力を合わせて実行することで、地域全体の性質が整い活性化されるものと確信しています。こうした活動は中学校区単位で全国展開されて参ります。

当校区では次に掲げます委員と、更により綿密な運営を目指すワーキンググループで構成され、保育園・学校・地域が一体となり、住みやすい地域作りに貢献して参ります。

地域の皆様方でお気付きの点又ご要望などあれば、各委員宛申し出下さい。共により良い地域を目指して参りましょう。

南海中学校区学校運営協議会

委員名簿

太字はワーキンググループ兼任

浦戸地区 徳廣 賢一
御豊瀬地区 坂上 朱美

長浜地区 福家 隆
久武 邦雄
永吉 誠志
内田 俊彦
原 芽
中村美津子
弘田 憲一

地域協働アドバイザー
横川 哲夫
長浜保育園園長 下村 美佳
うらら龍馬保育園園長 清岡えりか
おさなごの園園長 北岡 貴子
浦戸小PTA代表 西内 一十三
長浜小PTA代表 濱田 秀和
南海中PTA代表 西村明日香
浦戸小学校校長 藤田由紀子
長浜小学校校長 中村 仁也
南海中学校校長 廣瀬 啓二
事務局 南海中学校 教頭 他

南海中学校区 めざす子ども像

★目指す子どもの姿			★テーマ ★付けるべき力	★実現のための取り組み				
保育園児 【年長の目指す姿】	小学生 【6年生の目指す姿】	中学生 【3年生の目指す姿】		保育園	小学校	中学校	家庭	地域
地域の方々との交流を楽しみ感じられる園児	地域の良さや課題に気づき、良さを発見し課題の解決に取り組む児童	地域の良さや課題に気づき、地域を守り、より良くしようと貢献することができる生徒	郷土愛 地域の良さに気づき、地域を守りより良くしようとする	○地域の行事や交流活動を実施する ○地域の方との挨拶などを通して、地域への親しみを育てるようにする	○地域とのつながりを大切にした地域学習を実施する ○地域のよさや課題についての学習に取り組む	○行事等に地域と協力して取り組む ○地域の良さや課題について学び、考える場を設定する	○地域の行事等に子どもと参加する ○命の大切さ等について、子どもと話し合う	○一緒に活動することによって、地域の良さや伝統文化を伝える ○地域行事等に積極的に参加し、顔見知りの関係になる
友だちや先生との関わりを十分に楽しむことができる園児	誰に対しても進んで挨拶ができ、正しい言葉遣いや話し方ができる児童	心のかもった挨拶や場に合った言葉遣いができ、「聴き、伝える」ことを大切にできる生徒	コミュニケーション力 自他を大切にし、考え伝えあう	○遊びや活動の中で、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを受け止めたりできるように見守ったり、援助したりする	○自分から挨拶することのよさを実感できる場を設定する	○生徒の話を最後まで聴く、挨拶をするなど、教師が手本となる	○笑顔で挨拶したり、話しかけたりする ○子どもとの時間や会話を大切にする	○大人からおはよう、こんにちはは等、笑顔で挨拶する
自分や友達のことを大切にできる園児	自分や友達の良さに気が付き、自分も友達も大切にできる児童	自分や他者を大切にし、自分もかけがえのない存在であるという気持ちを持つことができる生徒	自尊感情 生命を大切にし、自分や他人の存在を大切にできる感情	○子どもの気持ちに寄り添い、話を聞いたりほめたりする ○友達と協力したり、応援したりする活動を行う	○お互いの良いところを認め合う活動を実施する ○感謝の気持ちを伝える場を設定する	○生徒の話を聞き、生徒の居場所を作る ○生徒を「褒める、勇気づける、認める」声かけを行う	○子どもの話をよく聴く ○家庭での役割を決め、大切な存在であることを伝える ○生命の大切さについて話し合う	○子どもの話をよく聴く ○地域での子どもの頑張りを園、学校に伝える
自分で決めて、友達と協力して意欲的に活動する園児	何事にも挑戦して取り組み、失敗してもあきらめない児童	様々なことに協働し、コツコツ努力することができる生徒	チャレンジ精神 諦めないで挑戦し、コツコツ努力する	○自主的・意欲的に活動する場面を作る ○友達と協力して、最後までやり遂げる充実感を味わえる場面を設定する	○様々な目標に、協働して取り組むことを支える ○失敗してももう一度挑戦することを支援する	○生徒が自己決定を行う場を設定する ○仲間の挑戦を支える、認める学級づくりに取り組む	○子どもの挑戦を応援する ○家庭での手伝いや頑張っていることを評価する ○大人も何かに挑戦する姿を見せる	○大人が生き生き働く姿を見せる ○挑戦したことを肯定的に評価する
様々なことに興味・関心を持ち、何事にも意欲をもって取り組める園児	自分から学習に取り組み、学び合うことを楽しいと感じる児童	学び合いを通して、学ぶことの楽しさを感じることのできる生徒	学力向上 学び合い、深く考え、学ぶことの楽しさを将来に渡って持つ	○知的好奇心が高まるような環境を整える ○様々な事に興味・関心を持ち、自ら遊びが展開できるように援助する	○授業改善に取り組む ○基礎学力の定着を図り、思考力、応用力を高める授業に取り組む	○教職員が授業力向上に努める ○安心安全な環境で、学び合うことのできる授業を行う	○早寝・早起き・朝ごはんを実践する ○子どもが学習に集中できる環境を作る	○学習支援等に関わる ○子どもの頑張りを見守り、子どもが自ら考えることを支える
防災活動に関心をもち、避難訓練などに意欲的に参加する園児	防災避難訓練に意欲的に参加し、地域に誇りを持てる児童	自らの命を守り、安全を確保する行動力を身に付けるとともに、地域の防災活動に主体的に参加する生徒	防災力の向上 自助・共助の意識を育み、生命・地域を守る	○あらゆることを想定できるように避難訓練を実施する	○命のつながりを考える防災教育を実施する ○避難訓練を実施する	○防災活動の日や避難訓練を生徒と共に、企画し実施する ○様々な状況を考慮した避難訓練を実施する	○地域の防災活動に参加する ○家族でいざという時の避難場所や、連絡方法等について話し合っておく	○防災活動を積極的にに行い、参加する ○防災活動等で、大人と子どもとで話し合うようにする